モデル③ ちびっこ広場 東山第5ちびっこ広場

設置者：豊田市 管理者：自治区

●優先順位の高い意見を、次の①～③にまとめました。

②おしゃべりしたり、くつろいだりできる場所をつくる（東屋や手洗い場の設置）

●東屋については、整備の可能性について、市と継続協議します。

●手洗い場については、市の既存の補助制度を利用し、自治区での整備を検討します。

③除草を交流・ふれあいの機会に

●除草目的で試行的にヤギのレンタルに取り組むこととしました。子どもたちにとっては、ヤギとふれ合う機会にもなります。

●ヤギによる除草実験後、除草作業で危険を伴う場所については、自治区による防草シートの施工を検討します。

①山を撤去し、平面の空間を増やす

●山の撤去については周辺住民で意見を取りまとめ、合意形成を図ります。フラットになった場所は、ボール遊びができる環境の整備又は遊具（ブランコなど）の整備を検討します。

●ボール遊びができる場とする場合には、防球ネットが必要か同時に検討します。またボール遊びのルールも検討します。

●東山第5ちびっこ広場では、地域の子どもたちの年齢構成の変化に応じた遊び空間を整備していくことを軸に話し合いが進みました。

●広場北側斜面の草刈の負担が大きいため、ヤギのレンタルによる除草対策というアイデアが出されました。次年度実施し、効果があれば、他の広場への展開を検討します。

美里地区特別号
第2号
令和6年12月発行

高橋支所だより

（問合せ・編集・発行）豊田市役所 地域振興部 高橋支所
〒471-0014 豊田市東山町2-1-1 電話：80-0077 FAX:80-0092
E-mail：takahashi-shisho@city.toyota.aichi.jp

みさとのみんなで公園・広場を地域住民の交流の場に！

モデル公園・広場の検討結果報告会を開催しました。

今後は、本ワークショップの意見を参考に、公園・広場の利活用に向けた取組と具体的な施設整備を地域と市が共働で実施して行きます。

結果報告会の様子（2024.11.10）

モデル公園・広場の検討結果を紹介します。

・本年度、美里地区内の3つの公園・広場をモデルに、公園や広場を地域住民の交流の場として、より有効に活用していくための方策（必要となる設備や使い方のルールなど）を地域の皆様とともに検討してきました。

・その検討結果報告会を11月10日（日）に開催しました。今回の支所だよりでは、3つのモデル公園・広場の検討結果を紹介します。

モデル① 神池公園

☞2ページ

人気のあるボール遊びができないか？

斜面を大型すべり台にしたい！

モデル② 美里二区ふれあい広場

☞3ページ

区民館を開放し広場の使い勝手を良くしたい！

常設のコートラインを引けば、子どもが集まる！

モデル③ 東山第5ちびっこ広場

☞4ページ

屋根のある場所は絶対に必要！

広場の山は撤去。平地を確保し遊べるように！

モデル① 都市公園（近隣公園） 神池公園

設置者・管理者：豊田市

●優先順位の高い意見を、次の①～③にまとめました。

●今後、より広く地域の声を聞き、ゴール、スポーツ壁、防球ネット等、ボール遊びに必要な設備の設置を検討します。
●ゴール等の設置に当たっては、騒音や管理の問題を解決する必要があることから、周辺住民の理解を含め、地域が中心となって調整を行います。
●ボール遊びを可とする場合、ボール遊びに関する“神池公園利用のルール”の見直しを行い、周知を図ります。

現在のルール

●地形を活かした芝生のスライダーの整備が可能か、今後市と調整します。
●整備が可能な場合、地域が担う役割（芝生の維持管理や利用上のルールづくり等）を継続して協議します。

現在の斜面の状態

●有事の際に備えて、かまどベンチを公園内に設置します。御立自治区やボーイスカウトが日ごろから防災訓練で利用し、神池公園を地域の自主防災拠点として活用します。
●BBQや焼き芋大会など、地域の交流イベントでの活用方策も検討します。

●このほかにも、健康遊具の設置、日よけのあるベンチの設置、ウォーキングコースの色分け、案内看板の設置等の意見が出ました。すでに整備されているものもあるため、ワークショップでは、上の①～③を優先順位の高い設備として決定しました。

●ワークショップで要望のあった次の項目は、御立自治区から市へ申請し、市全体の整備計画の中で、市が対応可否を決定します。
・古くなった樹木の更新　・見晴台にあるきのこ型の屋根の更新
・トイレの改修　・地面の凹凸の補修　・自動販売機の設置

●水をためるタイプの水遊び場の設置は、衛生上の理由で設置が不許可となる見込みのため見送りました。

●神池公園を地域の手でより良くしていくため、豊田市から公園管理業務を受託する地元団体の立ち上げを目指します。

モデル② ふれあい広場 美里二区ふれあい広場

設置者：豊田市 管理者：自治区

●優先順位の高い意見を、次の①～③にまとめました。

③スロープ・水洗場（外水栓）の設置

●高齢者やベビーカー利用者の使いやすさを向上させるため、スロープの設置を検討します。設置場所、仕様について自治区で検討します。
●遊んだ後、手洗いできるように水洗場（外水栓）の設置を検討します。既存の水道口の利用の可能性とあわせて、自治区で検討します。

①区民館の定期開放

●区民館の定期開放が可能になれば、トイレの利用が可能になるほか、遊び道具を常置できるなど、広場の使いやすさは格段に向上することになります。
●定期開放のためには管理者が必要となるため、自治区で検討します。
●あわせて、区民館及び広場を広く区民の方々に利用してもらえるよう、“自由に使ってよい”ことを区民向けにPRしていきます。

②常設のコートラインの整備

●常設のコートラインを引くにあたり、素材等について検討を加えます。
●簡易なゴール（可動式）を設置することについても検討していきます。
●左記「①区民館の定期開放」の検討とあわせて、自治区で検討します。

●美里二区ふれあい広場グループでは隣接する区民館と一体的に活用していくことで、広場がより活かされるとの考え方で、区民館の開放が主なテーマとなりました。
●Wi-Fiを整備することで子どもたちが集まるといった意見も出されました。防災上の観点も含め区民館又は広場にWi-Fiを整備することについても今後の検討課題となりました。